

## マネジメント学部地域マネジメント学科 入学前教育「国語」

問1 次の漢字の読み方を書きなさい。

① 委譲 (意味)他にゆだねゆずること

② 善処 (意味)物事をうまく処置すること

③ 意匠 (意味)工夫を巡らすこと

④ 凡例 (意味)本の初めにある、その本を読むための参考事項

⑤ 稼働 (意味)かせぎ働くこと。機械を動かすこと。

⑥ 捺印 (意味)はんこを押すこと。

⑦ 迅速 (意味)極めてはやい様子

⑧ 諮問 (意味)政策の決定に先立ち学識経験者などに専門的な見解を尋ねること。

⑨ 自明 (意味)証明するまでもなく、それ自身すでに明白なこと。

⑩ 引責 (意味)責任を取ること。

問2 次の①～⑥の文の下線部を、送り仮名を含めて最も適切な漢字で書きなさい。

① 日曜日の午後、友人をたずねた。

② この薬品のスプレーは筋肉痛をしずめる作用がある。

③ 上着のボタンをとめる。

④ 今朝は早くに目がさめた。

⑤ 転んでひざをすりむいた。

⑥ 思い込みでものを言うのはつつしむべきだ。

問3 それぞれ誤った漢字を書き出し、正しい漢字に直しなさい。

① 致命症

→

② 責任転化

→

③ 質議応答

→

④ 原価償却

→

⑤ 皮層な見方

→

⑥ 既製の事実

→

⑦ 異和感

→

⑧ 配遇者

→

⑨ 下熱剤

→

⑩ 暗誦番号

→

問4 次の①～④の下線部の平仮名に相当する漢字を書きなさい。

① 彼は脚本家をようせいするスクールの講師をしている。

救援隊の派遣をようせいした。

② 約束をほごにするのはよくない。

動物をほごした。

③ 彼は見たところでは年齢ふしょうだ。

本日の司会は、ふしょうながら私が務めます。

④ 店長はしょようで外出した。

空港までのしょよう時間は1時間だそうだ。

問5 次の言葉の意味として適切なものを選びを記号で答えなさい。

- a 「おもむろに」  
ア わざと イ えらそうに ウ あわてて エ ゆっくりと オ なにごともないように
- b 「寛容だ」  
ア 神経質になる イ 手厳しい ウ 心が広い エ 無関心である オ 興味を示す
- c 「小耳にはさむ」  
ア 聞くつもりがなかったことをぐう然に聞く  
イ 大切なことを中途半端（ちゅうとはんぱ）に聞く  
ウ 興味のあることを聞きのがさないようにする  
エ つまらないことでも聞き流さないようにする
- d 「口を切る」  
ア まずあいさつする  
イ 自己しょうかいする  
ウ 最初に発言する  
エ 議題を提示する
- e 「ままならない」  
ア 軽くみることはできない  
イ 問題にならない  
ウ 思いどおりにならない  
エ 予定どおりにはできない

a		b		c		d		e	
---	--	---	--	---	--	---	--	---	--

問6 次の①～⑤の下線部の語の類義語を使うのに適当な文をア～オから選び、( ) にあう類義語を書きなさい。

	【記号】	【類義語】
① 業務効率化のために配送システムを <u>改善</u> すべきだ。	<input type="text"/>	<input type="text"/>
② 昔は質素 <u>儉約</u> が奨励されたものだ。	<input type="text"/>	<input type="text"/>
③ トップ企業が市場の <u>寡占</u> 化を進めている。	<input type="text"/>	<input type="text"/>
④ 領土の <u>返還</u> 問題について外交交渉が行われている。	<input type="text"/>	<input type="text"/>
⑤ <u>突然</u> の来客にて慌てて部屋を片付けた。	<input type="text"/>	<input type="text"/>

- ア 図書館で借りた本は期限までに ( ) しなければならない。
- イ 農作物を育てるために土壌を ( ) する。
- ウ 幼なじみに ( ) に呼び止められたので驚いた。
- エ エアコンの使用を控えて電気代を ( ) する。
- オ 特定の企業が市場を ( ) するのはよくない。

問7 次の①～⑨の対義語をア～コから選びなさい。

- ① 暗愚 ⇔       ② 遺失 ⇔       ③ 依存 ⇔
- ④ 違反 ⇔       ⑤ 横柄 ⇔       ⑥ 自然 ⇔
- ⑦ 独立 ⇔       ⑧ 過疎 ⇔       ⑨ 干涉 ⇔

ア 自立	イ 過密	ウ 質素	エ 従属	オ 拾得
カ 謙虚	キ 人工	ク 賢明	ケ 放任	コ 遵守

問8 次の①～⑩の四字熟語の読みを答えなさい。

- ① 悪口雑言       ② 一蓮托生
- ③ 才色兼備       ④ 粉骨碎身
- ⑤ 満身創痍       ⑥ 疲労困憊
- ⑦ 上意下達       ⑧ 順風満帆
- ⑨ 純真無垢       ⑩ 五穀豊穰

問9 次の①～⑩の四字熟語の意味を下から選び、ア～記号出答えなさい。

- ① 枝葉末節      ② 臥薪嘗胆      ③ 朝三暮四      ④ 二律背反      ⑤ 換骨奪胎
- ⑥ 薄利多売      ⑦ 六根清浄      ⑧ 滅私奉公      ⑨ 夫唱婦随      ⑩ 虎視眈眈

ア	利益の割合を少なくして品物を多く売り、全体としての利益を多くすること。
イ	目先の違いに気を取られ、結局は同じことであることに気づかないこと。
ウ	欲や迷いを断ち切って、心身が清らかになること。
エ	私心をなくして、国のため公のために尽くすこと。
オ	静かにじっと機会をねらうこと。
カ	主要でない部分や細かい部分。
キ	苦心・苦勞を重ねること。
ク	夫が言い出して、妻がそれに従うこと。
ケ	一方を求めればもう一方は成り立たない状態のこと。
コ	すでにあるものに少し手を加えて、新しいものを生み出すこと。

①	<input type="text"/>	②	<input type="text"/>	③	<input type="text"/>	④	<input type="text"/>	⑤	<input type="text"/>
⑥	<input type="text"/>	⑦	<input type="text"/>	⑧	<input type="text"/>	⑨	<input type="text"/>	⑩	<input type="text"/>

問10 次の①～⑫の語について、空欄に「尊敬語」と「謙譲語」を書きなさい。

	尊敬語	謙譲語
① 言う	<input type="text"/>	<input type="text"/>
② 行く	<input type="text"/>	<input type="text"/>
③ 来る	<input type="text"/>	<input type="text"/>
④ 聞く	<input type="text"/>	<input type="text"/>
⑤ 見る	<input type="text"/>	<input type="text"/>
⑥ 食べる	<input type="text"/>	<input type="text"/>
⑦ 買う	<input type="text"/>	<input type="text"/>
⑧ もらう	<input type="text"/>	<input type="text"/>
⑨ 与える	<input type="text"/>	<input type="text"/>
⑩ いる	<input type="text"/>	<input type="text"/>
⑪ する	<input type="text"/>	<input type="text"/>
⑫ 帰る	<input type="text"/>	<input type="text"/>

問11 次の各文の下線部は「言葉の乱れ」にあたると考えられます。正しい表現に書き直しなさい。

ア ちこくした理由は、特にないです。

イ なにげに窓の外を見やると…

ウ いっしょにやろうよ、みたいな話だった。

エ わたしのお母様が、明日学校に来ると言っております。

問12 次の①～⑧の（ ）に入れるのに適当な接続後を、ア～クから選びなさい。また、接続語ア～クのはたらきの説明として適当なものをA～Hからえらびなさい。

- ① 今朝、私は寝坊をして電車に乗り遅れた。（ ）、友人に車で送ってもらった。
- ② 煎餅が食べたい。（ ）、歯が痛いので食べられない。
- ③ 新聞記者（ ）テレビの報道記者は、その事故現場の取材が許された。
- ④ 彼女はよく働く。（ ）明るいので、アルバイト先でも評判がいい。
- ⑤ 車の渋滞がひどい。（ ）歩いている人間のほうが速いくらいだ。
- ⑥ 日本は海に囲まれている。（ ）島国である。
- ⑦ 自由参加の会とする。（ ）、参加費は無料である。
- ⑧ クジラは1頭2頭と数える。（ ）哺乳類だからだ。

ア すなわち・要するに・つまり	イ むしろ・かえって
ウ だから・したがって・そこで	エ ならびに・および・また
オ しかし・だが・けれども	カ そのうえ・しかも・さらに
キ なぜなら・というのは	ク なお

A 並列＝前と後ろの文が対等な関係であることを示す。
B 順接＝後ろの文が前の文と順当につながることを示す。
C 添加＝後ろにつながる文が前の文の付け加えであることを示す。
D 逆説＝後ろの文が前の文に反することを示す。
E 言い換え＝後ろの文が前の文の言い換えや要約であることを示す。
F 対比＝前と後ろの文が対比の関係にあることを示す。
G 補足＝後ろの文が前に書いてあることを補うことを示す。
H 説明＝前に書かれたことの根拠を示す。

①	②	③	④
⑤	⑥	⑦	⑧

ア	イ	ウ	エ
オ	カ	キ	ク

問13 次のA、Bに入る適当な語を書きなさい。

「だ」や「である」で終わる文体を（ A ）という。「です」「ます」で終わる文体は（ B ）という。レポートや論文は通常、（ A ）で書く。（ B ）は、手紙や説明文でよく使われる。文体は統一することが基本だ。文章を書く際は、（ A ）と（ B ）が混同しないようにする。

A		B	
---	--	---	--

問14 次の文を、レポートの文として適切な文に書き直さない（不要な文を削除してもよい）。

日本の新聞の販売部数を朝刊について調べてみたのですが、読売が971万部、朝日756万部、毎日337万部で、これは世界でも1位、2位、4位になるようです。日本全国に向けて出されている新聞は、世界でもかなりすごいと言えるでしょう。なお、この数字は2013年上半期の実績としてあった数字です。

問15 次の文章を読んで、あとの問いに答えなさい。

入りたての新人は、何をやってもちょっとずつ違うものだ。いわば異分子である。非常にこまかい例になるが、コピーをとり終わったあと、ふたを開けておくか閉めておくかというような些細なことにいちいち違和感が起こるのだ。

たとえ悪気なくやっていることであっても、それによってほかのスタッフの調子が狂うような場合はやはり改めてもらわねばならない。が、そんなとき次の言葉は禁物だ。

「こんなことは常識だろう」

常識は人によっても、場所によっても異なる。常識という言葉にこだわるのなら、ローカルな常識を振りかざすのではなく、理に適った「わが社の常識」を理論的にしつけなければいけない。常識という言葉には、あなたとワタシのあいだでこんなに溝がありますよとでも言うような、冷たい拒絶の響きがある。

経営者は些事には口を出さぬほうがよいとはいえ、職場内で「常識でしょ」が聞こえたときだけは毅然として制止してほしい。排他がはびこる職場では、決して後進は育たないからである。

（香川恵著・HRS総合研究所監修『新入社員の「しつけ」と「研修」』すばる舎、2004年より）

(1) この文章は、①誰に向けて、②どういう人の言動について書かれたものか書きなさい。

① この文章は、誰に向けて書かれたものか。

② どういう人の言動について書かれたものか。

(2) この文章の論旨と異なるものをA～Eから1つ選びなさい。

- A 新入社員がやるこまかなことで、職場に違和感が生じることが多い。
- B 悪気ない行為であっても、ほかのスタッフの調子を乱すようなら改めさせるべきだ。
- C 新入社員には、しっかりと社会の常識を教え込まなければならない。
- D 「常識」を口にする、相手に自分との距離を感じさせがちである。
- E 「常識」を盾に人を寄せ付けないような職場では、後輩は育たなくなる。